

**センター試験出願迫る！**

大学入試センター試験の出願が迫っている。今年は9月26日(火)～10月6日(金)が出願期間となっているが、3年生はすでに願書を書き、受験料の振り込みを終えて担任に出願書類を提出した。校内での最終チェックの後、秋休み中に学校でとりまとめて発送する予定となっている。いよいよ本格的に受験が始まる。

1・2年生はまだまだ先のことのように感じるかもしれないが、確実にその日はやってくる。1年後・2年後の自分は受験を迎える準備ができているだろうか、想像してみよう。

平成30年度のセンター試験は、来年1月13日(土)・14日(日)の2日間で実施される。本校の出願者は、鹿児島大学会場等で受験する予定だ。

センター試験は、マーク形式の試験であり、国公立大学入試の一次試験としての役割のほか、私立大学入試等にも利用されており、全国で50万人を超える受験生が受ける試験である。

国語・数学・英語の3教科がそれぞれ1科目200点、地歴公民と理科(物理、化学、生物などの基礎のつかない科目)がそれぞれ1科目100点、理科の生物基礎や地学基礎は2科目で100点となっているが、大学や学部学科によって必要な科目や配点異なるので、事前によく調べておくことが必要になる。ただし、安易に受験する科目数を減らすと受験校選択の幅を狭めてしまい、不測の事態に対応できないので注意が必要である。

大学入試は、これまでに学んだ全てが問われる試験である。範囲が明確な数学や理科、地歴公民であっても、中学校までに学んだ知識や身につけた計算のスキルなどが十分にあることが前提であるため、大学入試は小中高12年間の学習の成果が問われる試験であると言える。その点で、1・2年生もすでに大学入試の準備は始まっている。受験勉強は3年生になってからなどと思っていると間に合わないので、日々の努力を怠らないようにしよう。

3年生は、センター試験まで残り100日余りとなり、焦りを感じている人も多いと思うが、センター試験はあくまで通過点である。2月に行われる個別学力試験まで含めて合否が決まることを忘れないでほしい。これから2次力強化に力を入れていく教科もあり、センター対策にシフトしていく教科もある。形式の違いや目先のことにとらわれず、着実に実力を錬成していこう。

**「静」の後期 進路研究を深めよう！****— 1・2年生 —**

学校行事の多かった「動」の前期が終わり、10月からは落ち着いて学習に取り組める「静」の後期が始まる。後期の1・2年生の課題は

1年生 「文理コースの選択」

2年生 「志望校の決定」

である。

1年生にとって、今回の文理コースの選択は、高校入学後初めての進路に関する大きな決断になる。高校を選択するときあまり悩まなかった人の中には、人生で初めて選択に悩むという経験をする人もいるだろう。最終的に自分自身が納得した選択ができるよう、進路研究を十分に深め、自分から保護者や先生方のアドバイスをもらいに行くなどして、よく相談しながら検討して欲しい。

2年生の秋は志望校を絞り込む時期になる。志望校を決めるのはまだ早いと思っている人もいるかもしれないが、「将来の夢」や「行きたい大学」など、明確な目標を見つけることは、学習意欲の向上につながる。このことから、早い段階で志望校を決定することの大事さが分かるだろう。ベネッセの調査によると、全国の成績上位者の6割以上が、この時期に「自分で本などを調べ、先生や周囲に相談して志望校を絞り込んだ」と答えているそうだ。

落ち着いて勉強や読書に集中できる「静」の後期、この時期に自分の将来についてじっくりと考えてほしい。

Hello, everyone :) It's been about half a year since I was transferred to your high school. It's been very fun and exciting to help you study English, because you are all such smart students and your questions are always challenging for me to answer. Most of all, I am astonished by how much effort you make in studying. I may not know all the students here, but you all deal with tons and tons of homework, therefore sleep only for limited hours, yet try to enjoy your high school days with your friends. I hope I am helping you pursue all your dreams.

I wonder what your dreams are. I take the liberty of writing here, and I would like to talk about my dream. My dream is to work in Starbucks, not in a particular Starbucks coffeehouse, but to work in the Starbucks headquarters in



Seattle! Why do I like Starbucks? It's because I love the coffee, atmosphere, music, tables, chairs... everything! No reason. Well, some people do not like this big corporation, because it is killing all those nice small local coffeehouses, which I agree with to a certain extent, but what can I say... I just like it. I even did a study on coffeehouses in the US for my dissertation: What coffeehouses mean to people from a communication standpoint?

Here is a question for you: Which one is the oldest logo? Starbucks has changed their logo 4 times since 1971. The company is 46 years old now. They have 23,768 stores in 74 countries. Starbucks is everywhere now. Their first store was on a street in Seattle! The name "Starbucks" was named after a captain of a boat in a famous novel, *The Whale* by Moby-Dick in America.



I still pursue my dream and I hope you do the same. Have a nice fall vacation. Study hard, sleep well and have some Starbucks!

**第55回体育祭「中央光華～咲き乱れる勝利の華～」での競技の部優勝おめでとう。**

2学年の先生方も大喜び、大興奮の体育祭でした。昨年度の大敗から1年、昼食前の中間発表でトップに立ち、男女の綱引きで学年全体がまとまり、勢いに乗って全員で勝ち取った勝利でした。競技で頑張った人は勿論、応援席で声をからして一生懸命応援する姿に、君たちの成長ぶりに驚きつつ頼もしさも感じさせてもらいました。

今年の体育祭を通して感じたことは、1つの目標に向かって全員の気持ちが一つになれば、個々の持つ能力以上のものが発揮されるということ。君たち自身の努力で絆を深め、今、そういう集団の中の一人であることを自覚しながら、受験という大きなハードルに向かって高校生活の後半戦を迎える君たちに、真剣に考えてもらいたいのが…  
「これからの半年をいかに過ごすか？」ということ。

目には見えないけれども、大学に進学するためにはやらなければならないこと、こなさなければならないことの「総量」が決まっています。この「総量」を確実にこなすことのできた受験生だけが志望校に合格するのが大学入試です。

**「先んずれば人を制す」が受験の王道**

入学時は横一線だった君たちに、受験までに大きな学力差がつくのは何故か？ 実は、受験を意識した学習を早い時期にスタートさせられるかどうか最大の要因。学習内容や学習量にしても、先に始めた人の方が多くのことをこなせるのは当然。大学受験に関しては、この「先に始める」という点が大きな差になる。高校1、2年生での勉強時間・学習習慣が志望校合格を左右する重要な要因になる。では、3年生になるまでの半年間で、具体的に何をすべきか？

**その1：志望校を考える**

目標を明確にすることで、モチベーションが上がる。何をどのようにすべきかが見えてくる。

**その2：勉強の習慣をつける ⇒ 基礎を固める**

「よし頑張るぞ」と勉強しても成績が上がらない理由は、「本来得るべきものを得るべき過程で得ていない」ことが一番の原因。サボった分のつけは払わなくてはならないのが受験勉強。ストレスも苦痛も伴う部分だが、逃げずに、できるだけ早い時期にしっかり向き合うことが大切。時間のかかる基礎・基本の徹底や、自分が苦手としている科目の克服などは2年のうちに解決しておきたい。部活動と勉強時間のバランスを考慮しながら、睡眠時間をしっかり確保して疲れを翌日に持ち越さないのは当然。「まだ2年生だし大丈夫」と油断せず、今日から受験を意識して勉強してみる。大学受験は長い闘いですが、努力は必ず報われます。君たちならきっとやれます。54期生全員の健闘を祈ります。

**大学進学を本気で考える君たち54期生が強く意識すべき2つのこと****(1) 「勉強する」ことに慣れる**

君たちに一番意識して欲しいのがこの部分。3年になったら、18:00まで放課後自習・放課後補習も始まる。部活動引退後は、今、部活動に割いている時間がそのまま学習時間になる。受験生の休日の勉強時間も平均10～12時間。この急激な変化は思った以上にきついもの。だから今の時期から勉強する習慣をつけることで、スムーズに勉強できるようしておきたい。習慣は短期間で身につくものではないので、早めに意識しておきたい。

**(2) 「学校の勉強以外に何か特別なことをやろうとしない」**

塾に通ったり、難しい問題集を購入したりといった何か特別なことをやろうとして受験に失敗する生徒は多い。一番大事なのは基礎をじっくりやり込むこと、自分のものにすること。とにかく最低限授業の進度に合わせてそこまでの範囲の基礎をしっかりと身につけるといえることが、この時期の学習で最も重要なこと。実は、基礎の理解が本当が一番難しい。しかし、それさえしっかりと出来てしまえばあとは思いの外スムーズにいけるもの。

## 「成功（成果）」＝「実力」×「目標」×「努力」

こんな法則があるの知ってますか？ 「実力」、「目標」、「努力」それぞれの値を高めていくことで、「成功（成果）」の値も高まっていくという、ある意味ザックリとした法則なのですが、高校生活に当てはめるとどうでしょう？ 紆余曲折をへながらも、ほぼ全員が迎える卒業の日。しかしその充実度：「成功（成果）」には、個人差があるように思います。

一年生の今の段階で考えてみると、「実力」に関しては、まだ大差はないはず。みなそれぞれが高校入試を突破してきた高いレベルの「実力」をもっているはず。しかし、期末考査などをみると、すでに上下で400点以上（9教科）の差が生じています。7月には、初めての模試も受験し、全国レベルでの自分の水準を知ることができたことでしょう。ところで、テストの結果等で示された数値（点数、順位、偏差値等）は、それが自分の本当の「実力」なのでしょうか？全力を投じて取り組み、その結果見えてきたものこそが真の「実力」といえるはず。どれだけ時間やエネルギーをかけることができたのか。まずは、自分の力を出し切ることに専心しましょう。

そういう意味でやはり、今大切なのは「努力」です。今すぐにも値を高めることができるのが、「努力」です。そして、この「努力」のモチベーションとなるのが「目標」です。前期前半が終わったとはいえ、高校生活は、いよいよこれからが本番。部活動と学習の両立をめざし、厳しい夏の練習に耐えてきたこれまでは、ある意味、キャンプやオープン戦だったといえます。たくましい心身と、一定のノウハウを身につけた、いよいよここからが本戦、ペナントレース開幕！勝負は今から。大いに野心をもって夢や目標を再度立ててみてもらいたいものです。

今の自分の「実力」にみあったもの、今の力でも叶うもの、といった設定ではなく、むしろあえてやや高めに目標を設定して、そこをめざして背伸びすることが、成長につながっていくのではないのでしょうか？後期では、文・理系選択も決定していきます。卒業後の進路「目標」を具体的でクリアなものにしていくことも「努力」の原動力になっていくのではないのでしょうか？

「目標をもってキバレ！」と言われても、「やる気が出ない」、「自信がない」という人もいます。部活動の練習や清掃作業などを想起してみてください。とりあえず取りかかり、動いていく中で、「もっともっと」とやる気がわいてきたりしませんか？むしろそちらのケースの方が多いのでは？また、「自信」はたくさんの失敗を糧としながら、作り育てていくものでは？大切なことは、始めてみることに、続けていくことなのです。

努力の蓄積 → 自信の高まり → 目標の高まり → モチベーションの高まり → 努力の高まり → 努力の蓄積 → 自信の高まり → …

この好循環をどんどん作っていきましょう。それができれば自ずと「実力」の値もあがっていくはず。

英語の「成功」(success)の語源はラテン語の「次に来るもの」という意味の言葉からきているそうです。「次に来るもの」？ 何の次にくるのか？ それは「失敗」です。失敗は成功の素。そんな教えが、語源自体に含まれているのです。

先の体育祭、1年生（緑軍）は、先輩の偉大さを目の当たりにしました。特に2年生（青軍）の強さは際立っていました。しかし、あの青軍も、昨年は今年の緑軍以上の大差で3位となっていたことを知っていますか？ 前期の経験を生かして、「次に来るもの」、大いに期待しています。

